

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	16. 市税等収納率の向上	担当課	納税課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	課税課・国保年金課
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	8-2-(1)財源の確保	
総合戦略	基本目標	-	
プランの目的	税負担の公平性や自主税財源の確保のため、「市税等納付率向上マスタープラン」に基づく様々な滞納対策を講じることで、着実な収納率向上を目指す。		
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○個人市民税(普通徴収・特別徴収)については、今年度末の県平均値達成を目標とし、今後も更なる収納率の向上を目指す。 ○新規未納者発生を防ぐため口座振替の推進を図る。 ○コールセンターによる催告を強化するため、平成29年度以降3年間の長期継続契約を締結した。 		
実施方法	直営・一部委託(コールセンター)		
期待する成果	○収納率の向上により、税負担の公平性の担保及び、自主財源の確保が期待できる。		

実施細目 のH29 取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			現行の対策・マスタープランの見直し 平成28年度の実績及び取組による成果をもとに、課題や今後の取組・目標を提示した原案を作成した。(平成31年度見直し予定)	対策実施										
口座振替の推進 ①口座振替推進のチラシ作成(地区回覧により全戸配布、住民税の納税通知書に同封) ②口座振替推進のポケットティッシュ作成(金融機関窓口配布) ③広報紙掲載(8月・3月)						①作成配布							②作成配布	
特別徴収等収納対策 課税課と連携し、未納者に対し早期納付を促した。	随時電話催告実施													
	随時電話催告実施													

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	(地方税法・国税徴収法・憲法)						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/1439.htm (納税課)						
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
	個人市民税収納率(%) ※H29実績値は5月31日現在の数字	目標値	-	89.98	91.10	91.15	91.20
		実績値	89.82	92.25	94.30	95.40	
		達成度	%	102.5%	103.5%	104.7%	
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
	個人市(県)民税県内順位(位) ※H29実績値は5月31日現在の数字	目標値	-	41	40	39	38
		実績値	41	39	29	29	
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	16. 市税等収納率の向上				担当課	納税課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込
	歳入	個人市民税	5,057,265	5,131,512	5,290,567	5,485,469	5,240,736
		計	5,057,265	5,131,512	5,290,567	5,485,469	5,240,736
	歳出	市税等徴収事業	80,200	80,869	82,014	80,187	91,149
		計	80,200	80,869	82,014	80,187	91,149
歳入－歳出		4,977,065	5,050,643	5,208,553	5,405,282	5,149,587	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		22.0	22.0	22.0	22.0	22.0
	関連課等		1.0	1.0	2.0	2.0	2.0
	計		23.0	23.0	24.0	24.0	24.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	課内会議を定期的実施し取組内容を見直した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	課税課と連携して取り組んだ。(特別徴収対策, 軽自動車税対策)
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	滞納状況進行管理表を随時確認し現状に即して対処した。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標は収納実績により記載した。県内順位を成果指標とした。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	最終目標は収納率100%であり,早期達成のため日々検討を重ねて取り組んでいる。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	予算積算時に確認した。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 納税課全職員による税の公平性確保のための取組など,業務努力の成果が収納率・県内順位として現れてきている。今後も取組手法を協議検討し,更なる収納率向上に努める。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	16. 市税等収納率の向上	担当課	納税課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○プラン達成の見える化を進めるべく、成果指標として「個人市(県)民税県内順位(位)」を設定されたことを評価する。</p> <p>○税の公平性を前面に掲げ、更に努力されたい。成果指標の平成29年度の目標値を上回る取組を期待する。</p> <p>○市税等収納率向上対策取組状況や市税概要の開示について、検討されたい。</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>○財源の確保・税負担の公平性のため収納率100%が最終目標であることを念頭に滞納整理に取り組んでおりますが</p> <p>今後も課内全体で毎月の収納率・県内順位を共有しながら状況に即した対策を進め目標達成に向け努力を続けます。</p> <p>取組状況等の開示については広報紙に県内順位及び滞納処分の件数等を掲載していきます。また、口座振替推進にも注力しポスターの作成並びに関係各所への掲示により市民の納税意識の高揚を図っていきます。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>○プランに「個人市(県)民税県内順位(位)」を設定することで目標が明確になったことから、順位向上に向け課内会議で随時問題を洗い出し対策を検討しました。主な対策として滞納処分の実績を広報紙に掲載・口座振替推進用のポケットティッシュの配布・特別徴収対象事業者への納付催告等を実施した結果、収納率も向上し目標順位を達成しました。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○税の公平性の観点から、取組状況の公開をはじめ、広報紙やポスターを利用して、市民の納税意識を促すなど、より一層の施策の展開を期待する。</p> <p>○納税率を茨城県レベルに、さらには全国レベルに。この取組は市民力の向上(行政への参加姿勢)にもつながる。引き続き目標の必達を期されたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>○毎年広報紙において、滞納処分件数、口座振替推進、納期限などに関する情報を掲載しております。特に口座振替については、ポスター、チラシ及びポケットティッシュを作成し、関係各所への掲示・配布を行い、納付機会の拡大に努めております。今後も各種納税情報を公開し、市民の納税意識の高揚を図っていきます。</p> <p>○平成29年度における本市の個人市民税収納率は95.40%となり、県平均95.93%、全国平均95.45%(平成28年度)には及ばないものの、年々近い数値となり、これまで様々な滞納対策を講じ積み上げてきた成果と捉えております。今後も県平均値達成を目標に、さらなる収納率向上を目指し取り組んでいきます。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化		担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	補助金等の所管課・団体	
事業開始年度	—	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目		8-2-(2)財政運営の適正化	
総合戦略	基本目標		—	
プランの目的	補助金等交付団体の自立促進と併せ、補助金の経常化防止を図るため、指導・監督を通し整理統合化に取り組む。また、補助金等審議会において要項等に基づく補助金等の審議を継続し、適正な交付に努める。			
プランの取組内容	○補助金等審議会からの指摘事項への対応。 ○「要項等補助の整理合理化に関する方針」に基づく整理合理化の推進。 ○予算関係のヒアリング・説明会等において、所管課に対し、事業内容・効果等の精査、交付団体の指導育成に努めるよう周知を行う。			
実施方法	直営			
期待する成果	○補助金等の公益性、公平性、必要性、効果、経済性を総合的に勘案し、適正、的確に交付できる。			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH29取組状況	審議会における審議	<ul style="list-style-type: none"> ・団体補助 7団体 ・要項補助 21事業 											
	評価・答申	<ul style="list-style-type: none"> ・団体補助: 410万2千円の要望額に対し、408万8千円、△1万4千円、△0.3%の答申を行い、平成30年度予算に反映した。 ・要項補助: 現状維持14事業、縮小または改善が必要6事業、廃止または根本的な制度改革が必要1事業の評価を行い、所管課へ取組状況の報告を依頼した。 											
	評価結果に対する所管課の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の評価結果に対する取組状況を平成29年6月1日までに報告。第1回審議会の議題とした。 											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載

チェック

参照例規	神栖市補助金等交付規則の他、各種補助金交付要項あり						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/8702.htm (補助金等審議会)						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	審議会における審議件数(件)	目標値	—	28	28	28	22
		実績値	28	29	22	28	
		達成度	%	103.6%	78.6%	100.0%	0.0%
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
		目標値	—				
		実績値					
		達成度	%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化					担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)	歳入	-	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込	
		計	0	0	0	0	0	
	歳出	審議会委員報酬・費用弁償	212	241	276	262	367	
		研修会講師謝礼			30		35	
		計	212	241	306	262	402	
歳入－歳出		▲ 212	▲ 241	▲ 306	▲ 262	▲ 402		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
	関連課等		2.7	2.5	2.4	2.4	2.4	
	計		3.0	2.8	2.7	2.7	2.7	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	団体補助所管課・団体代表, 要項補助所管課からの事前資料の提出, 審議会の出席など, 連携して取り組んだ。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	所管課からの提出資料, 審議結果を基に更新を行った。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については, 再検討の結果, 妥当と考える。なお, H30年度は2年毎の委員改選の年であり, H28年度と同様, 研修会を予定しているため, 目標値はH28年度実績値と同数に修正した。成果指標については, 当プランにはそぐわないと考える。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	審議の実績, 評価・答申については詳細化して表記した。なお, 当プランは, 審議⇒答申⇒評価⇒所管課の対応のサイクルで継続する。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	確実に見積もっている。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	<p>B: 計画どおりの取組結果だった。</p> <p>所属長コメント</p> <p>当プランは審議⇒答申・評価⇒所管課の対応のサイクルを継続し, 補助金等が適正, 的確に交付されるよう取り組むものであり, 平成29年度では, 継続した指導・検証を行うため, 前年度評価において見直しの実施を求めた一部事業について, 引き続き審議を実施した。</p> <p>当初の設置目的や交付方法を踏襲し, 継続してきた補助金等は, 時代の変化, 市民のニーズと必ずしも合致しない可能性もあるということを念頭に, 今後も継続して, 所管課及び交付団体等への当市の現状を踏まえた事業実施内容への指導や検証を行い, より適正な交付となるよう努めていく。</p>	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	17. 補助金等の整理合理化	担当課	財政課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○時代や市の情勢を考慮し、議会、補助金等審議会などの意見を踏まえながら、真に必要な事業に、適正な補助金が交付されるよう取り組まれない。</p> <p>○補助金の申請団体に対し「自立化計画書」を提出させるなど、その実現性を評価するとともに自立化に向けた取組の進捗を評価するような仕組みを導入してはどうか。</p> <p>○公益性、公平性、必要性、効果、経済性等をシビアに検証、実行されたい。【継続】</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>○補助金の交付にあたっては、時代や市の情勢に合致しない可能性もあるということを念頭に、今後も継続して所管課及び交付団体等に対して事業実施内容への指導や検証を行い、より適正な補助金の交付となるよう努めていきます。</p> <p>○補助金の申請団体の自立化については、審議会における審議及び評価・答申の他、団体の所管課においても、団体予算の検証と見直し等を行っています。補助金の交付対象は公益性を認めた団体ではありますが、これらの取組を通じ、自立に向け指導育成を行っています。</p> <p>○補助金等の財源は、広く市民から納められた税金が原資であり、最大限有効に活用する必要があると認識しています。今後も、公益性、公平性、必要性、効果、経済性等を検証し、より適正、的確な交付になるよう努めていきます。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>平成29年度では、継続した指導・検証を行うため、前年度評価において見直しの実施を求めた一部事業について、引き続き補助金等審議会の審議対象とし、所管課へのヒアリング等を通じ補助金交付のあり方について活発な議論が行われました。</p> <p>また、観光振興・地域経済活性化を補助目的としている事業については、効果の検証を求めていた審議会からの指摘を受けた所管課が、宿泊者数等の調査を行う方針を決めるなどの改善も見られました。</p> <p>今後も、継続して公益性、公平性、必要性、効果、経済性等を検証し、より適正、的確な交付になるよう努めていきます。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○補助金については、時代の変化と共に公益性が乏しくなるものが生じることは自明のことであり、今後厳しい財政状況が予測される中、見直すべきは原則にしたがって見直し、新たに必要となったものについては十分精査のうえ導入するなど、しっかりとバランスを取りながら見直しを進められたい。</p> <p>○補助の必要性、妥当性、有効性、公平性などの統一された基準を設け、慣習にとらわれることなく、年次ごとに評価し、市民生活の向上に還元できる補助金の交付を期待する。</p> <p>○補助金の交付については、市民生活の豊かさにつながる活動や伝統・文化・芸術・スポーツの振興に寄与する活動など、必要のあるものに対して適正に行うことは当然のことながら、事業計画書・事業報告書の精査、ヒアリング時の指導をさらに徹底すべきである。</p> <p>また、補助金の交付状況等を市民に分かりやすく公表し、透明性の確保に努められたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>○ご指摘のとおり、補助金等の見直しについては、時代の変化と共に公益性が乏しくなるものが生じること、今後厳しい財政状況が予測されることを踏まえ、既存・新規補助金等について、今後も継続し、所管課及び交付団体等へ現状を踏まえた事業実施内容への指導や検証を行います。</p> <p>○補助金等の基準については、要項等の整理合理化に関する方針等に基づき、公益性、公平性、必要性、効果、経済性等の検証をしており、今後も審議⇒答申・評価⇒所管課のサイクルを継続していきます。</p> <p>○関連書類の精査・各所管課への指導については、財政課による事前調査・ヒアリング、補助金等審議会における審議において、今後も継続し取り組んでいきます。なお、補助金等審議会の会議録・答申について市ホームページに掲載しております。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	18. 使用料・手数料等の適正化			担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上		関連課等	使用料・手数料等の所管課	
事業開始年度	-		事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目		8-2-(1)財源の確保		
総合戦略	基本目標		-		
プランの目的	見直しの基本的な考え方を示し、現状把握と、行政と受益者の負担割合について所管課へのヒアリングを定期的に行うとともに、市民生活への影響を勘案しながら料金等の見直しを進める。				
プランの取組内容	○「使用料・手数料の設定における基本方針」に基づく料金設定と定期的な見直し。 ○所管課へのヒアリングによる現状把握と適切な助言。				
実施方法	直営				
期待する成果	○料金設定方法が明確になる。 ○行政と受益者の負担割合が明確になる。 ○定期的な料金見直しが行われる。				

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)															
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
実施細目のH29取組状況	現況調査(原価計算)	・34課 ・使用料 422件 ・手数料 104件	現況調査														
	所管課へのヒアリング・評価	・6課 ・使用料 13件 ・手数料 6件					ヒアリング・評価 (調査表確認含)										
						調査表確認											
																	ヒアリング・評価

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	神栖市手数料条例の他、各種条例あり					
プラン関連記事URL						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
	現況調査(原価計算)件数(件)	目標値	-	493	519	525
実績値		493	519	525	526	
達成度		%	105.3%	101.2%	100.2%	
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
		目標値	-			
実績値						
達成度		%				

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	18. 使用料・手数料等の適正化					担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込	
	歳入	-						
		計	0	0	0	0	0	0
	歳出	-						
		計	0	0	0	0	0	0
歳入-歳出		0	0	0	0	0	0	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	関連課等		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	
	計		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	所管課からの資料提出, ヒアリングなど, 連携して取り組んだ。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	所管課からの提出資料, ヒアリング結果を基に更新を行った。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については, 再検討の結果, 妥当と考える。なお, H30年度の目標値はH29年度実績値と同数に修正した。成果指標については, 当プランにはそぐわないと考える。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	所管課へのヒアリング・評価については詳細化して表記した。なお, 当プランは, 現況調査⇒ヒアリング・評価 のサイクルで継続する。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	-
7. その他()		
プラン変更	数値指標の平成30年度目標値を平成29年度の実績と同数に修正した。(525件⇒526件) これは, 現況調査(原価計算)は全件調査としており, 直近の実績を翌年度調査時の件数確認の基本とするためである。	
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 当プランは現況調査(原価計算), ヒアリング・評価のサイクルを継続し, 適正な料金設定・定期的な見直しに取り組むものであり, ほぼ計画どおりに実施できた。スケジュールについては, 現況調査は調査対象課の状況により, 時期を変更したが, 所管課へのヒアリング・評価(調査票確認含)は予算編成までの期間をより長く確保するため, 前倒しをして実施した。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	18. 使用料・手数料等の適正化	担当課	財政課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○受益者負担が適正となるよう、定期的に見直しをするなどして、公平な運営に努められたい。</p> <p>○公平性、市民サービスの向上が見直しの要因ならば、公平性、市民サービス寄与を点数化(プラン17では補助金評価に評価指標の点数化を導入している)して説得力のある見直しになるよう努力が必要である。【継続】</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>使用料・手数料の料金設定は、毎年、現況調査(原価計算)をすることにより、比較・評価の見直しを実施しています。</p> <p>その際、評価指標については、使用料では、市が提供するサービスは、道路、公園等の市民の日常生活に必要で市場原理によっては提供されにくいサービスから、プールやテニスコートの運営等のように特定の市民が利益を享受し、民間においても類似のサービスが存在するものまで、多岐にわたっています。このため、一律の受益者負担の原則だけでは料金を設定することは困難です。そこで、サービスを性質別に4つに分類し、その分類ごとに「公費(税金)負担」と「受益者負担」の割合を設定しています。この分類別に応じた適正対価と現料金の乖離率及び原価を評価指標としています。</p> <p>手数料では、証明書発行などが主であるため、現料金と原価の乖離率を評価指標としています。また、使用料・手数料ともに近隣の状況も調査項目としており、これらを総合的に判断しています。</p> <p>今後も現況調査(原価計算)、ヒアリング・評価のサイクルを継続し、適正な料金設定・定期的な見直しに取り組んでいきます。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>使用料・手数料は、市民生活の全般に渡り深く関わっているものが多く、今後も現況調査(原価計算)、ヒアリング・評価のサイクルを継続し、市民の理解と協力が得られるよう定期的な見直しを行っていきます。この定期的な見直しにより、所管課のコスト意識の醸成を図るとともに、施設の管理運営の改善や事務の効率化等、コスト削減の努力を続けながら、適正化を図るよう、所管課に対する指導を行っていきます。</p>			
平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○使用料・手数料等の具体的な金額は、近隣市との比較や経済状況など、総合的な観点で決定されると思われるが、事業ごと、施設ごとに受益者負担の対象とすべき経費を明らかにするとともに、経費のうち、どれだけを受益者が負担し、どれだけを税金で賄うのか(受益者負担割合)を明確にし、市民の理解と納得を得られるようにすることが必要である。</p> <p>○ヒアリング調査の実施は、使用料・手数料等の適正化につながる取組であるので、今後も継続して実施されたい。</p> <p>○使用料、手数料は、行政が提供する市民サービスに対しての対価であることから、利用者(市民)と提供側(行政)の双方に不均衡が生じないよう、常に配慮されたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>受益者負担割合については、「使用料・手数料の設定における基本方針」において、多岐に亘る市サービスに係る使用料は性質別(必需的・選択的、非市場的・市場的)の4つに分類し設定、証明書発行等が主である手数料は受益者の100%負担を原則として設定しております。なお、ご指摘のとおり、具体的な金額は、近隣市との比較や経済状況など、総合的な観点で決定しております。</p> <p>今後も、市民の理解と納得を得られるよう、現況調査(原価計算)、ヒアリング・評価のサイクルを継続し、適正な料金設定・定期的な見直しに取り組んでいきます。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備	担当課	財政課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	国保年金課,長寿介護課,こども課,下水道課,学務課外
事業開始年度	—	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし
総合計画	章一節一項目	8-2-(1)財源の確保	
総合戦略	基本目標	—	
プランの目的	税外債権を所管する各課において, 自主的かつ継続的に滞納整理を行えるよう助言やサポートを行いながら, 効率的に滞納整理が行える体制を検討する。		
プランの取組内容	年間計画, マニュアル等を作成し, 継続して滞納整理が行える環境を整備する。また, 困難な事例については助言, 共同作業することで対応能力の向上を目指し自己解決できるようにする。		
実施方法	直営		
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的かつ継続した滞納整理ができる環境の整備, 困難な事例等を自己解決できること。 ・滞納管理が間違いなく効率的に進められるシステムや環境整備。 ・継続的に滞納整理が行える体制の確立。 		

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施細目のH29取組状況	滞納整理	兼任体制を活用し, 預貯金調査, 差押, 執行停止のほか, 保育料, 給食費等の児童手当からの申出徴収など各債権所管課と協力し滞納整理を進めました。 滞納整理補助 預貯金調査後, 差押や執行停止など 保育料, 給食費等の申出徴収											
	税外収入体制の検討・整備	H28年度に徴収の一元化について素案をまとめ, 組織変更のための人員配置を要望しました。今後も徴収の一元化を継続検討してまいります。 税外収入体制の検討・整備 (必要に応じ新体制運用) 人員配置要望 組織予算編成の時期までに方針決定											
	滞納整理に必要なシステム等の整備	保育料はH29年5月にシステムを本稼働。墓地管理料はシステム修正実施。その他予定していた債権について, 導入が遅延となったため導入に係る準備作業を進めました。 別紙(滞納管理に必要なシステム等の整備) 参照											
	年間計画の作成	各債権所管課と年間計画を作成し滞納整理に取り組みました。進捗確認と修正は随時行いました。 原案作成 計画作成・協議 進捗確認と修正											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上, 別紙(任意)に記載 チェック レ

参照例規	地方自治法, 地方自治法施行令, 地方税法, 児童手当法, 介護保険法, 都市計画法他						
プラン関連記事URL							
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	滞納整理に必要なシステム等の整備(件)	目標値	—	8	11	9	11
		実績値	7	8	8	9	
		達成度	%	100.0%	72.7%	100.0%	
	マニュアルの作成(件)	目標値	—	0	4	8	10
		実績値	0	0	4	8	
達成度		%	—	100.0%	100.0%		
滞納整理指導件数(件)	目標値	—	—	150	150	150	
	実績値	—	145	188	144		
	達成度	%	—	125.3%	96.0%		
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	児童手当からの申出徴収額(円)	目標値	—	—	—	8,200,000	7,000,000
		実績値	415,020	6,269,194	8,879,032	7,433,130	
		達成度	%	—	—	90.6%	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備				担当課	財政課	
事業費 (単位:千円)	歳入	-	基準年(H26)	H27	H28	H29見込	H30見込
		計	0	0	0	0	0
	歳出	-	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
	歳入-歳出		0	0	0	0	0
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		1.8	1.7	1.7	1.8	1.8
	関連課等		0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	計		2.7	2.6	2.6	2.7	2.7

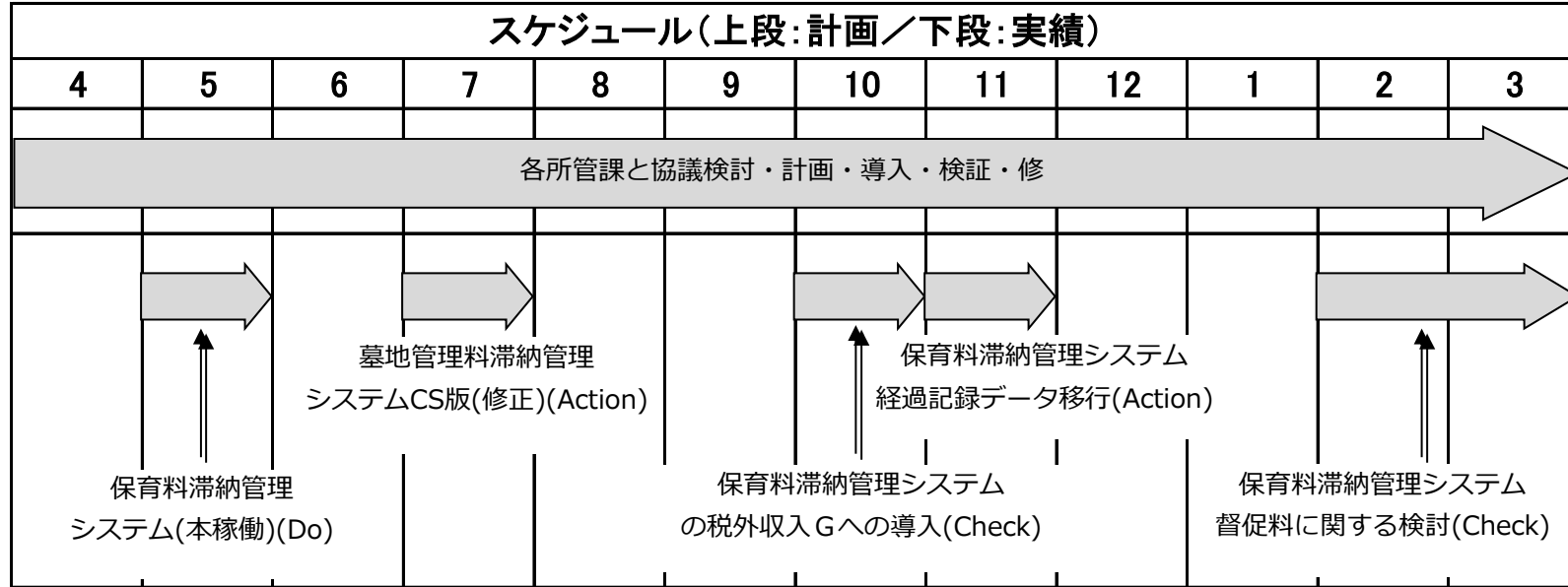
担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	確認の結果, 変更なしです。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	各債権所管課と連携し滞納整理に努めています。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	確認の結果, 変更なしです。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標について明確化するため, パーセント表記から件数表記に変更しました。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	確認の結果, 変更なしです。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業費の設定はありません。
7. その他()		
プラン変更	<p>・数値指標「滞納管理に必要なシステム等の整備」の指数は, 平成27年度当初の時点で不足しているシステムを分母とした”パーセント”で表示していましたが, その後, システム導入を必要とする債権の増加等があり, 分母に変動が生じ複雑化してしまったため, 導入が必要なシステムの”件数”に変更しました。また, 平成26年度末時点で導入されているシステム件数を基準年(H26)欄に追加しました。債権1件につき通常は「賦課・収納システム」と「滞納管理システム」の2件のシステムが必要になります。</p> <p>・数値指標「マニュアルの作成」の指数は, 主要な債権数を分母とした”パーセント”で表示していましたが, 同様に債権の増加があると複雑化するため, 作成する債権の”件数”に変更しました。</p>	
自己評価	B: 計画どおりの取組結果だった。	<p>所属長コメント</p> <p>本プランの目的は各債権所管課が自主的に滞納整理を進められるように指導, 協力すること, また, そのための環境を整えることにある。その結果として, 徴収率の向上と継続した滞納整理につながるものとする。</p> <p>「滞納管理に必要なシステム等の整備」と「マニュアルの作成」では指標の目標を達成した。また「滞納整理指導件数」と「児童手当からの申出徴収額」ではそれぞれが目標値の96.0%, 90.6%となり, いずれの目標も概ね達成できたものと判断し, 左記の評価とした。「税外収入体制の検討・整備」については今後も継続して検討していく。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	19. 税外収入体制の整備	担当課	財政課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○「児童手当からの申出徴収額」を成果指標として新たに設定されたことを、プラン取組への意欲の現れと評価する。</p> <p>○システム導入やマニュアル整備に遅れが生じているようなので、プランの進捗管理に力を入れ取り組まれたい。</p> <p>○取組の進捗を管理するためのマイルストーンをどの時点に置いているのか、またPDCAサイクルの各ステップをいつ行うのか、年間活動計画書などに記載して示すことができるよう検討されたい。</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>遅れが生じているシステム導入について、進捗管理に力を入れ取り組んでまいります。なお、マニュアル整備につきましては計画通り進捗しておりますが、今後も計画のとおり進めてまいります。</p> <p>また、システム導入のPDCAサイクルをそれぞれ、P(計画・準備)、D(導入・運用)、C(導入後の検証)、A(更新・修正)とし、年間計画書に記載できるよう業者と調整し、計画的な導入に努めてまいります。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>システム導入については、PDCAサイクルによる進捗管理に力を入れ、関係各課及び業者と調整を行いながら、計画的に進められるよう努めてまいります。マニュアル整備につきましては、今後も計画のとおり進めてまいります。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○滞納整理マニュアル整備の進捗が図られているので、今後は、具体的に徴収額を増額させるための、次のステップの取組、目標設定に期待する。</p> <p>○時効によって債権が消滅した事例等を分析し、今後の対策等を立てられたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>滞納整理マニュアルの整備が計画通り進んでいるため、今後は作成したマニュアルを活用し、滞納整理を進められるよう、人材育成に力を入れていきます。</p> <p>また、時効による債権消滅については分析を行い、時効を迎える前に より多くの滞納者の見極めを行うことができるよう、効率的に滞納整理を進めていきます。</p>			

滞納整理に必要なシステム等の整備



神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	20. 国民健康保険の安定運営(保健事業実施)		担当課	国保年金課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	健康増進課, 長寿介護課	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	
総合計画	章一節一項目		2-4-(6)国民健康保険財政の健全性の確保及び国民年金制度の周知	
総合戦略	基本目標		-	
プランの目的	国民健康保険特別会計の安定的な財政運営			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果に則した保健事業等の実施及び医療費適用適正化により保険給付費の削減を行う。 ・保健事業として、レセプトデータや健診のデータを分析し、疾病構造や医療費の現状を把握したうえで、生活習慣病の重症化予防等の計画を行うための「データヘルス計画」の策定・実施 ・先発医薬品と治療学的に同等で、薬価が安くなっている後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進事業等の実施。 			
実施方法	直営・委託			
期待する成果	一人当たりの保険給付費の抑制 平成30年度から国民健康保険の保険者は、茨城県と市町村で行う事となっています。その国民健康保険を運営する財源として、市町村が県に納付する国民健康保険事業費納付金の納付算定の評価である神栖市の医療費の水準を下げることに伴い、プランの成果が反映される			

実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
受診行動適正化指導事業	医療費高額化の要因となっている重複・頻回受診、重複服薬の対象者に対して適切な受診行動に導くため通知書の送付を実施。(実績:11通)				医療費分析			通知					効果測定
				医療費分析		通知							
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の使用促進を図るため、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えの際の軽減額等を記載した通知書の送付を実施。(実績:3,098通)				レセプトデータ		1回目		レセプトデータ		2回目		効果測定
				レセプトデータ		1回目		レセプトデータ		2回目			効果測定
医療費の適用適正化	医療費通知の定期的送付により自身の医療費の再認識を促すとともに、レセプト点検により保険診療ルールに則しているかなどを確認し適正化を実施。	<div style="text-align: center;"> </div>											

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック レ

参照例規	神栖市国民健康保険条例, 神栖市国民健康保険規則, 人間ドック等健康検診費用助成実施要項, 神栖市国民健康保険の診療報酬明細書点検事務嘱託員取扱要項
------	--

プラン関連記事URL	http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/10522.htm (神栖市国民健康保険データヘルス計画)
------------	---

数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
			一人当たりの保険給付費(円)	目標値	-	211,000
	実績値(見込)	-	228,989	233,140	247,127	
	実績値	211,438	227,316	233,132		
	達成度	%	92.8%	107.2%	101.2%	

成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30
			ジェネリック医薬品の新指標の達成率(%)	目標値	-	62
	実績値	52.8	62.3	66.8	69.4	
	達成度	%	100.5%	102.8%	99.1%	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	20. 国民健康保険の安定運営(保健事業実施)			担当課	国保年金課		
事業費 (単位:千円)	歳入	国庫支出金・県支出金(特別健康検査等負担金)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込
		国庫支出金(特別調整交付金)	25,618	23,555	24,563	18,418	21,198
		計	4,674	8,281	9,257	11,070	12,884
	歳出	保健事業費	30,292	31,836	33,820	29,488	34,082
		特定健康診査等事業費	14,534	22,000	21,397	28,063	29,884
		計	54,934	53,542	49,048	62,560	67,669
歳入－歳出		69,468	75,542	70,445	90,623	97,553	
		▲ 39,176	▲ 43,706	▲ 36,625	▲ 61,135	▲ 63,471	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下第1位	担当課			0.5	0.5	0.5	0.5
	関連課等			0.2	0.2	0.2	0.2
	計		0.0	0.7	0.7	0.7	0.7

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	関連課と連携しデータの整理・分析などの取り組みを実施。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	逐次, 最新の医療データを追加している。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	成果指標であるジェネリック医薬品の新指標の達成率の見直しを行った。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	受診行動適正化指導事業, ジェネリック医薬品差額通知事業については, 通知書の発送時期の見直しを行った。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	歳入, 歳出とも見積もっている。
7. その他(…)		
プラン変更	ジェネリック医薬品の使用割合について, 国が示す目標値は, 平成30年度から平成32年度末までのなるべく早い時期に80%以上とするとされていたが, 具体的な達成時期が平成32年9月と定められたことから, 本市においても80%の達成時期を, 国が示す同時期とし, 本プランの平成30年度達成率80%を75%へと見直しを行った。	
自己評価	B: 計画通りの取組結果だった。	所属長コメント 平成28年10月から短時間労働者等への社会保険の適用拡大が行われ, 現役世代の多くの国保加入者が社会保険へ移行したことにより, 一人当たりの保険給付費の増加が避けられない状況のなかで, 目標値の範囲内に抑えられたことは, 一定の成果があったものと考えられる。また, ジェネリック医薬品の達成率については, 年々上昇はしているものの, 目標値には及ばなかったことから, ジェネリック医薬品差額通知対象者の拡充や通知回数を増やすことで達成率向上に努める。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	20. 国民健康保険の安定運営(保健事業実施)	担当課	国保年金課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○より徹底したレセプトチェック等を実施し、医療費の適正化に努められたい。</p> <p>○増加する医療費の抑制により大きく寄与する可能性のある施策導入を検討すべきと考えるがどうか(プラン12の活動で得られたデータの活用や協働などで)。</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>○引き続き、医療費通知を送付するとともに、徹底したレセプト点検を実施し、医療費の適正化に努めていきます。</p> <p>○今年度は、第二期データヘルス計画の策定年度となっていますので、第一期計画の検証・評価を実施するなかで、健康増進課と連携を図りながら、既存事業の取組強化はもとより、医療費抑制の効果を考慮した新たな事業についても検討していきます。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>○レセプト点検の強化については、医療機関ごとの傾向を踏まえ、点検内容の充実を図るとともに、他保険者との意見交換や研修会等へ積極的に参加し、レセプト点検職員のスキルアップを図ります。</p> <p>○第二期データヘルス計画では、ジェネリック医薬品差額通知の発送回数を2回から3回へ変更しました。また、新たな事業として、多くの薬剤を服用している人や同じ効能の薬剤を複数服用している人に対して、適切な服薬を促すことを目的とした服薬情報通知事業を追加しました。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○高齢化率の上昇を背景に、国民健康保険における1人あたりの医療費は増加傾向にある。この対策としてジェネリック医薬品の使用促進を図ることは効果的であると判断する。そのために地域内で流通しているジェネリック医薬品のリストを作成し、使用実績を示すなど、市民への啓発とともに、医療機関との連携をさらに進め、医療費の適正化に努められたい。</p> <p>○この取組に密接に関係する健康増進課と連携して、神栖市の疾病の特徴を分析するとともに、その対策としての予防法を市民に周知し、医療費の抑制につなげられたい。</p> <p>○レセプトの点検が医療費の適正化につながっているのであれば、レセプトを行う職員のスキルアップを図るための取組を推進されたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>○ジェネリック医薬品の使用促進については、薬代の削減効果のある対象者に通知書の送付を実施するとともに、被保険者証発送時においては、全世帯へジェネリック医薬品希望カードを配付しておりますが、今後は、ホームページ等を活用し、さらなる情報発信に努めます。</p> <p>○健康増進課と連携を強化し、レセプトデータや健診データを分析して策定した「データヘルス計画」に基づき、各種保健事業を実施し、医療費の抑制に努めます。</p> <p>○レセプト点検については、引き続き、他保険者との意見交換や研修会等に積極的に参加することで、職員のスキルアップを図ります。</p>			

○多受診者通知の実績及び効果

発送日：平成29年8月25日

通知対象	通知実施人数(人)	効果測定実施人数(人) (通知後の国保脱退者除く)	改善人数(人) ※①	1人1月あたりの効果額 (円) ※②	改善割合	年間削減効果額(円) ①×②×12月
重複受診者	-	-	-	-	-	
頻回受診者	-	-	-	-	-	
重複服薬者	11	11	11	1,622	100.0%	214,104
合計(実人数)	11	11	11	1,622	100.0%	214,104

<対象者の特定>

- ・重複受診者・・・1ヶ月間で同系の疾病で3医療機関以上受診している者。
- ・頻回受診者・・・1ヶ月間で同一医療機関に8回以上受診している者。
- ・重複服薬者・・・1ヶ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、日数合計が60日を超える者。

※上記に該当する者の中から、がん・難病等を除外したものを対象者とした。

<効果及び効果額の算出>

- ・重複受診者・・・重複している医療機関数及び起因となった疾病の医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。
- ・頻回受診者・・・同一医療機関の受診日数及び医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。
- ・重複服薬者・・・重複している医薬品の投与日数及び医療費の平均値を通知前の調査期間と通知後の効果期間で比較。

○ジェネリック通知の実績及び効果

<第1回目>

通知発送日	対象診療年月	発送数(枚)	ジェネリック切替人数(人)	削減効果額(円)
平成29年8月25日	平成29年 5月分	2,065		
平成29年12月26日	平成29年 9月分	1,033	1,264	2,847,000
	平成29年10月分		1,208	2,658,000
	平成29年11月分		1,263	3,151,000
	平成29年12月分		1,210	3,111,000
	平成30年 1月分		1,466	3,489,000

<参考>

新指標の数量シェア＝後発医薬品／(後発医薬品のある先発医薬品＋後発医薬品)

旧指標の数量シェア＝後発医薬品／全医薬品(「経腸成分栄養剤」,「特殊ミルク製剤」,「生薬」,及び「漢方」を除く。)

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	21. 普通財産の有効活用		担当課	契約管財課
推進項目	財政力の向上	関連課等	-	
事業開始年度	平成22年度	事業終了(予定)年度	終了予定年度なし	
総合計画	章一節一項目	8-2-(1)財源の確保		
総合戦略	基本目標	-		
プランの目的	普通財産の有効活用と払下げの促進により管理経費の削減を図り、財源の確保に寄与する。			
プランの取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産を適正に管理しながら売却処分を進める ・関係例規の整備 ・組織的な管理体制の充実 ・能動的な貸付など払下げ以外の活用方法の検討 			
実施方法	委託及び直営			
期待する成果	自主財源の確保。 管理事務の効率化等により経常経費の節減と抑制。			

実施細目 のH29 取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
			業務委託の実施	売却予定地の境界確定及び測量調査業務の実施	境界確定・測量調査(12筆)										
			境界確定・測量調査(23筆)												
売却処分の実施	売却予定地の入札執行及び手続き	売却予定の入札及び手続き													
			入札			入札				入札	入札	入札			
関係例規の整備	市有地処分に関する要項の制定	要項制定													
			要項制定												

取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載 チェック

参照例規	神栖市財産の交換、譲与、無償貸付に関する条例 神栖市市有地処分に関する要項 神栖市行政財産の使用料徴収条例 神栖市財務規則						
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/7664.htm (市有地の売却)						
数値指標	数値指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	払下契約件数(件)※土地	目標値	-	12	12	12	12
		実績値	13	14	11	17	
		達成度	%	116.7%	91.7%	141.7%	
成果指標	成果指標(単位)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30	
	財産売払収入(千円)	目標値	-	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績値	36720	13,615	23,715	34,769	
		達成度	%	45.4%	79.1%	115.9%	

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	21. 普通財産の有効活用				担当課	契約管財課	
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込
	歳入	財産売払収入	36,720	13,615	23,715	34,769	30,000
		計	36,720	13,615	23,715	34,769	30,000
	歳出	市有財産有効活用事業	16,131	16,801	14,474	16,596	20,251
		計	16,131	16,801	14,474	16,596	20,251
歳入－歳出		20,589	▲ 3,186	9,241	18,173	9,749	
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	関連課等						
	計		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	見直した結果、現行どおり。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	売却予定地の入札を執行する前に関係各課へ取得希望調査をしている。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	計画的に事業を遂行するため、複数年度に分けての年度計画及びデータ化を策定中。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	再検討した結果、現行どおり。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討した結果、現行どおり。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	見積もっている。
7. その他()		
プラン変更		
自己評価	A: 計画を上回る取組結果だった。	所属長コメント 前年度と比べ売却収入が目標値を上回ることができた。今後もスケジュールの進捗状況を確認しつつ売却物件を選定し、目標達成に向けて事業に取り組んでいく。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	21. 普通財産の有効活用	担当課	契約管財課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○市有普通財産の売却処分が進み、現在、残っているものの処分は難しくなってきていると推測する。他の有効活用の方法も検討されたい。</p> <p>○財産売払収入のみならず、管理費(労務費・管理経費)の削減額を加算して、資産売却による経済効果を評価した方が良いと考えるがどうか。</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>○現在、普通財産を売却処分していく中で、不整形な土地や袋地等の利用価値が少ない土地が多数残っている状況であるため、継続して売却処分を進めるとともに、その他の活用方法についても検討していきます。</p> <p>○市有地を適正に管理する上で、維持管理費用は必然的に発生するものでありますので、効率的・効果的な維持管理に努めていきます。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>不整形な土地など利用価値の低い土地について検討した結果、境界確定作業に多額な費用を要することから、将来的に実施する地籍調査の土地境界が確定する時期に売却処分を実施していきたいと考えています。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○普通財産は、収益につながる財産として運用効率を上げ、管理経費等をできるだけ削減するため、あらゆる手段をもって対応されることを期待するとともに、運用実績、売却実績、目標値等を数値化し、取り組まれない。</p> <p>○売れ残った資産の価値は今後ますます低下し、管理には多額の費用が掛かってくるものと想定できる。可能な範囲で、売却額を安価に設定したり、売却を予定する土地に何らかの付加価値をつけたりするなど、処分の工夫に努められたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>土地の価格設定については、「神栖市市有地処分に関する要項」に基づき、不動産鑑定評価額により適正な予定価格を設定しており、売却額を安価に設定することは、近隣地価への影響も考えられることから難しいものと考えます。また、利活用が難しい土地に付加価値をつけることは、収入以上に経費がかかることが予想されます。なお、その他の手法として、土地の区画変更や隣接市有地と組み合わせでの売却など、工夫をしていきます。</p> <p>今後も市有地を管理していく中で、普通財産の売却処分を継続し、現行の収入を上回ることができるよう積極的に取り組むとともに、経費削減と効果的な維持管理に努めていきます。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	22. 公共施設等総合管理計画の策定		担当課	政策企画課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	所管課	
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成28年度
総合計画	章－節－項目		8-2-(2)財政運営の適正化	
総合戦略	基本目標		4安心して暮らせる魅力ある神栖市をつくる	
プランの目的	公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現し、総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画を策定する。			
プランの取組内容	公共施設等の現況及び将来の見通し、総合的かつ計画的な管理に関する基本的方針、施設類型ごとの管理に関する基本的方針等を内容とする公共施設等総合管理計画を策定する。			
実施方法	委託			
期待する成果	計画により、財政の平準化を図り、施設の長寿命化、計画的な管理が可能になる。			

実施細目	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			個別計画の策定状況(施設所管課)	H28, 29年度:水道ビジョンの策定(水道課) H27~H33年度:市道改修計画の策定(道路整備課)	個別計画策定									
個別計画策定														
計画の進行管理	各個別計画の策定状況の取りまとめ	取りまとめ												
		取りまとめ												
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載			チェック											
参照例規														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/11197.html (神栖市公共施設等総合管理計画)													
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	計画策定進捗率(%)	目標値	-	50	100	-	-							
		実績値	0	50	100	-	-							
		達成度	%	100.0%	100.0%	-	-							
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	-											
		実績値												
		達成度	%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	22. 公共施設等総合管理計画の策定				担当課	政策企画課		
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込	
	歳入	一						
		計	0	0	0	0	0	
	歳出	公共施設等総合管理 計画策定業務委託		4,762	11,864			
		計	0	4,762	11,864	0	0	
歳入－歳出		0	▲ 4,762	▲ 11,864	0	0		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課			0.7	0.6	0.3	0.3	
	関連課等			2.1	2.1	2.1	2.1	
	計		0.0	2.8	2.7	2.4	2.4	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認し, 変更なし
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	個別計画策定状況の実績を取りまとめた
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	内容を再確認し, 変更なし
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	内容を再確認し, 変更なし
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	内容を再確認し, 変更なし
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	個別計画策定に際し, 各施設所管課において情報を収集し, 適正な金額で委託した
7. その他()		
プラン 変更		
自己 評価	B: 計画どおりの 取組結果だっ た。	所属 長 コ メ ン ト 本計画の策定は平成28年度に完了し, 平成29年度は施設所管課における個別計画の策定状況や実施状況等について取りまとめを実施したことから, 評価についてはB評価とした。今後については, 当該計画の目的を達成するため, 引き続き, 関係各課との連携を図りながら取り組んでいく。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	22. 公共施設等総合管理計画の策定	担当課	政策企画課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○作成したカルテや白書を踏まえながら、定期的に施設機能をチェックし、老朽化により更新が必要となった施設について、維持管理費と比較して、早期に新築か、廃止などを見極められるよう、計画的に進められたい。</p> <p>○計画の進捗を検証するため、専門的知識を有する外部委員を含む組織等の設置を検討されたい。</p> <p>○従来の施設ごとの短期・長期管理から総合管理計画に基づく管理方法へ変更をすることで、どのような変化が現れてくるのか注視していきたい。【継続】</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>今後は、施設所管課において本計画の方針に沿った個別計画の策定を推進するとともに、既に策定済みの個別計画に基づいた施設の維持管理や大規模改修などを実施してまいります。</p> <p>また、全庁的な調整や本計画の進行管理を担う庁内検討組織を設置して、個別計画の進捗状況を集約し、情報を共有するとともに、外部有識者の意見を参考にしながら、検証を実施してまいります。</p> <p>実情にあった将来のまちづくりを進めるため、本計画に基づき施設所管課で策定された個別計画を実行することにより、経済性だけでなく住民ニーズに合致した公共施設の総量抑制及び最適配置などを総合的かつ計画的に推進してまいります。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>本計画を着実に推進するため、庁内検討組織の設置や各個別計画の策定状況、それに基づく取組をとりまとめるとともに、将来更新等費用の削減目標達成に向け、各施設所管課の個別計画策定を促し、そのフォローアップを行うほか、施設の維持管理、更新に関するセミナー等について、関係各課に情報提供を行っています。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○今後は、公共施設の統廃合の検討も進んでいくものと考え。その場合は、統合、廃止、継続、再利用など、それぞれの方法において、掛かる費用の比較等を行った上で、市民の意見や専門的知見を十分に取り入れながら進め、併せて、進捗状況の公表を行っていくよう努められたい。</p> <p>○公共施設等総合管理計画の推進、また、これに基づく個別計画の策定にあたっては、地域格差に十分配慮した上で進められたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>本計画に掲げる公共施設管理の実施方針及び個別計画に基づき施設の適正管理を進めるとともに、将来更新等費用の抑制に努めていきます。</p> <p>また、本計画の推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズ等を踏まえ、中長期的な視点から、今後における施設のあり方や適正配置を図っていきます。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	23. 市道改修計画の策定		担当課	道路整備課											
推進項目	(3)財政力の向上		関連課等	下水道課・水道課・農林課											
事業開始年度	平成27年度		事業終了(予定)年度	平成33年度											
総合計画	章一節一項目		6-5-(3)道路環境の向上												
総合戦略	基本目標		-												
プランの目的	アスファルト舗装の劣化による剥離や陥没箇所、側溝の老朽化や破損での蓋の脱落箇所などによる交通事故を未然に防止するため、路面現況調査(クラック調査)や空洞化調査等の現地調査を実施し、道路修繕工事を計画的に行うために、側溝改修を含めた広域での修繕計画を策定する。														
プランの取組内容	市内の全市道路線の修繕計画を立てることは難しい為、区域や路線を限定した修繕計画を立案する。 その他の道路については、これまでどおり行政区要望等を考慮し整備を進めていく。														
実施方法	委託														
期待する成果	幹線道路・市街化区域等については、地域を絞り込んだ計画を立てることにより、今後部分補修費が嵩む事が減り、市道改修費用の平準化も図れる。 道路利用者の満足度が向上する。														
実施細目 のH29 取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	現況調査	対象エリア (土合・知手中央地区) 空洞化調査												空洞化調査	
		※空洞化調査とは 道路下部の不可視部分に存在する 空洞等を車載型地中レーダーを用 いて異常箇所を検出する調査です。 道路陥没の要因の一つに道路下の 空洞の存在があります。												空洞化調査	
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載										チェック					
参照例規															
プラン関連 記事URL	http://www.city.kamisui.baraki.jp/1496.htm (道路整備課)														
数値指標	数値指標(単位)		基準年 (H26)	H27	H28	H29	H30								
			目標値	-	0	10	20	40							
			実績値	0	0	10	20								
	計画策定の進捗率(%)	達成度	%		100.0%	100.0%	0.0%								
成果指標	成果指標(単位)		基準年 (H26)	H27	H28	H29	H30								
			目標値	-											
			実績値												
	達成度	%													

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	23. 市道改修計画の策定				担当課	道路整備課		
事業費 (単位:千円)			基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込	
	歳入	一						
		計	0	0	0	0	0	
	歳出	調査・計画			7,500	11,500	20,000	
		計	0	0	7,500	11,500	20,000	
歳入－歳出		0	0	▲ 7,500	▲ 11,500	▲ 20,000		
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課				0.1	0.1	0.5	
	関連課等				0.1	0.1	0.4	
	計		0.0	0.0	0.2	0.2	0.9	

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	再確認の結果, 変更なし。
2. 組織横断的なプランは, 連携して取組むことができたか。	レ	関係各課と協議を行った。引き続き協議を行っていきます。
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	平成29年度に, 調査対象エリアを含めた路面空洞化調査を行った。
4. 数値指標, 成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については変更を行った。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	スケジュールを確認し, 計画の変更を行った。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	専門業者より概算金額で適正に算出し検討を加えている。
7. その他()		
プラン変更	<p>修繕計画を立案するためには, 本来であれば, 路面現況調査(クラック調査)と空洞化調査の結果が必要ですが, 平成29年度における進捗状況としては, 空洞化調査の一部路線での実施となっております。今回の空洞化調査の結果, 修繕計画を策定するエリアの舗装より下部の路床で, 空洞が多く見つかりました。</p> <p>今後も修繕計画策定エリア内で多くの空洞等が予想される為, 引き続き舗装面下の空洞化調査を実施し, 併せて路面現況調査(クラック調査)を進める為の調整をまいります。</p> <p>よって, 平成30年度に修繕計画策定完了とする予定でありましたが, 今後も空洞化調査及び路面現況調査(クラック調査)の実施に時間を要する為, 修繕計画策定完了を平成33年度に変更することとしました。</p> <p>併せて, 目的, 取組内容, 数値指標も変更しております。</p>	
自己評価	C: 計画にやや遅れが生じた。	<p>所属長コメント</p> <p>路面現況調査(クラック調査)の未実施, 及び空洞化調査に時間を要したため全体計画に遅れが生じた。今後は路面現況調査(クラック調査)を進める為の調整をしつつ, 舗装改修が手戻りにならないように引き続き路面下空洞調査を行っていく。調査結果をふまえ修繕計画を策定する。</p>

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	23. 市道改修計画の策定	担当課	道路整備課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○現況調査等にあたっては、漏れ、誤りがないよう、計画的に十分、精査して実施し、道路利用者の満足度につながるよう優先順位を決めた上で、改修を進められたい。</p> <p>○計画策定は30年度に実施とのことであるが、「対象エリア、路線等ごとに改修計画を策定する」のであれば、現況調査を実施し計画策定したものから、順に運用し、取組のタイムスケジュールを前倒しすべきと考えるがどうか。【継続】</p> <p>○期待する成果が「部分補修費がかさむことが減り、市道改修費用の平準化も図られる」ということであれば、「部分補修費」、「平準化」を定量化した数値目標を成果指標として掲げるべきである。【継続】</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>○現況調査の結果を基に、十分に優先順位を考慮し改修を進めていきます。</p> <p>○計画策定における設定区域内全体を調査把握した後、結果を相対的に比較して、工事の優先順位を判別していくことを前提しておりますが、交通量や道路の利用状況を考慮して、重要と思われる路線については、優先的に改修工事を行っていきこうと考えます。また、現状が危険な状態で緊急に対応すべき箇所については、本計画とは切り離して、早急な修繕工事を行っていききたいと考えています。</p> <p>○部分補修費については、今回の計画を策定することによって重複工事を回避することができるようになることによる節減で、部分補修工事の内容や規模によっても様々ですので、定量化して具体的な目標数値を算出することは困難です。今後の改修工事費の平準化については、年度あたり約2,000万円の工事(例:道路幅8mとすると延長約400m)を対象に、効果を反映させていききたいと考えています。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>○上記の通り、計画策定時には委員会の所見や改善内容を勘案しながら事業を進めていきます。また、平成28.29年度に実施した空洞化調査で把握した異常箇所について、緊急に対応すべき箇所については、修繕工事を実施してきました。今後は空洞化調査を進める中で、並行して路面現況調査(クラック調査)についても実施できるようにエリア検討しつつ重点路線等を選定していきます。策定された修繕計画を実施することにより、事案が発生してから事後対応ではなく、先行型の「予防保全」の対応がなされるようになります。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○計画が策定されても、状況に応じて優先順位を変えることが望ましい場合も想定される。市民の安全な生活に深く関わる取組であることから、臨機応変に対応されたい。</p> <p>○現況調査には、行政委員からの報告や、学校で行われている通学路アンケート等も反映し、優先順位を考慮して、作業工程と数値目標を明確にした上で、改修を進められたい。</p> <p>○対象エリアとエリア毎の路面現況調査(クラック調査)、空洞化調査、調査実施後の計画策定、さらにその後の長期的な展望まで含め、明示されたい。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>○現状の路面が危険な状態で緊急に対応すべき箇所等については、本計画とは切り離して、早急な修繕工事の実施を検討します。</p> <p>○改修計画の優先順位を設定する際は、各行政委員からの市道改修を含む整備要望や、通学路の安全度等を考慮いたします。</p> <p>○立案された改修計画を運用する際は、地図情報システムを活用してデータを集約し、工事履歴の整理等を実施します。</p>			

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	24. 公園施設長寿命化計画の策定	担当課	施設管理課
推進項目	(3)財政力の向上	関連課等	—
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成28年度
総合計画	章一節一項目	5-4-(2)公園・緑地の整備と利用促進	
総合戦略	基本目標	—	
プランの目的	老朽化している公園施設を、効率的・計画的に維持管理を行うために長寿命化計画を策定し、誰もが安全・安心に利用できる環境を整え、質的向上とライフサイクルコストの縮減を図る。		
プランの取組内容	公園施設の予備調査・健全度調査を行い、対象公園全体の施設健全度等を把握し、効率的な維持管理・更新を行っていくための計画を策定する。		
実施方法	委託		
期待する成果	計画に基づく予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善を実施することで、公園施設の長寿命化が図れ、公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減が期待できる。		

実施細目のH29取組状況	実施細目	取組状況	スケジュール(上段:計画/下段:実績)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			公園施設長寿命化計画の進行管理	計画に基づく公園施設の改築・更新、修繕等の結果について、データの整理及び公園施設一覧の修正を行った。										
取組状況について補足が必要な場合はチェックの上、別紙(任意)に記載									チェック		レ			
参照例規														
プラン関連記事URL	http://www.city.kamisuibaraki.jp/11263 (公園施設長寿計画)													
数値指標	数値指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
	計画策定に係る進捗率(%)	目標値	—	30	100	—	—							
		実績値	0	30	100	—	—							
		達成度	%	100.0%	100.0%	—	—							
成果指標	成果指標(単位)		基準年(H26)	H27	H28	H29	H30							
		目標値	—											
		実績値												
		達成度	%											

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	24. 公園施設長寿命化計画の策定				担当課	施設管理課		
事業費 (単位:千円)	歳入	社会資本整備総合交付金 (防災安全交付金)	基準年(H26)	H27	H28	H29	H30見込	
		計	0	3,773	6,781	0	0	
	歳出	予備調査		7,547				
		健全度調査・計画策定経費			13,564			
		進行管理経費				497	500	
	計	0	7,547	13,564	497	500		
歳入－歳出	0	▲ 3,774	▲ 6,783	▲ 497	▲ 500			
一般職人工 (単位:人) ※小数点以下 第1位	担当課		0.2	0.3	0.1	0.1		
	関連課等							
	計	0.0	0.2	0.3	0.1	0.1		

担当課点検・自己評価		
点検項目	チェック	点検に関する説明【実績】
1. 基礎情報は見直したか。	レ	内容を再確認した。
2. 組織横断的なプランは、連携して取組むことができたか。	レ	—
3. プラン設定時の実態や問題をデータ化したものを更新したか。	レ	施設の設置年度や損傷状況等の現状を示した公園施設一覧表について、施設の改築・更新及び修繕等の実施結果並びに遊具の点検結果等の情報を反映した。
4. 数値指標、成果指標を再検討したか。	レ	数値指標については再検討の結果、現行どおりとする。
5. 取組スケジュールの詳細化と短縮化について再検討したか。	レ	再検討し、スケジュールどおりとする。
6. 事業費を確実に見積もっているか。	レ	事業費について再精査し、計上した。
7. その他()		
プラン 変更		
自己 評価	B:計画どおりの取組結果だった。	所属長コメント 施設の修繕、補修等の長寿命化対策は、計画通り進めることができた。実施された補修等の結果や遊具等の点検結果については、公園施設一覧表を更新し、見直しを行った。 また、長寿命化計画が将来にわたって機能するよう、引き続き適切な長寿命化対策及び事業進捗状況の把握をし、適宜、計画の見直しを行っていく。

神栖市改革チャレンジプラン取組状況検証シート(平成29年度取組)

プラン名	24. 公園施設長寿命化計画の策定	担当課	施設管理課
平成28年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成28年度取組所見)			
<p>○公園は市民の憩いの場であるため、安全が最優先である。計画書が策定されたとのことであるが、修繕箇所 のチェックは定期的に行い、長寿命化につなげられたい。</p> <p>○公園施設の長寿命化に関して、従前の管理方法と今回のプランによる管理方法でどのような違いが現れてく るのかを明確にし、取組を分かりやすくされたい。【継続】</p>			
上記の平成28年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成28年度取組改善内容)			
<p>策定した計画に基づき、定期的な補修による機能維持や計画的な補修と更新により、長期的な使用に努めるこ とで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図ります。</p> <p>なお、日々の日常点検は継続して行い、事故の未然防止に努め、公園利用者の安全・安心を確保します。</p>			
上記の平成28年度取組改善内容に記載した検討、改善の実施			
<p>計画に基づく適切な長寿命化対策を実施しました。また、策定した計画に沿って対策を行うことで、市内全体の 公園施設の健全度(損傷状況、劣化状況等)が把握できるようになり、随時実施している日々の日常点検と維持 保全等の維持管理がしやすくなったため、施設の機能の保全と安全性の確保が高い次元で維持できるようにな りました。</p>			

平成29年度取組に対する行財政改革推進委員会の所見(平成29年度取組所見)			
<p>○利用頻度により、遊具の劣化速度にも違いが生じてくるほか、市民のライフスタイルの変化により利用形態も 変わってくることから、変化する状況に合わせた公園施設長寿命化計画の見直しに努められたい。</p> <p>○緑の空間は自然とふれあえる貴重な市民の憩いの場である。子どもだけでなく、高齢者にも優しい”バリアフ リーな公園”づくり、安全な”行きたくなる公園”づくりを期待する。</p>			
上記の平成29年度取組所見を踏まえた今後の改善内容(平成29年度取組改善内容)			
<p>○長寿命化計画が将来にわたって機能するように、日々の日常点検、長寿命化計画の進行管理を年次的に行 い、事業進捗状況の把握をすると共に、適宜、計画の見直しを行っていきます。</p> <p>○ご指摘のように、本格的な高齢化社会において、バリアフリー化された生活環境は国民生活に不可欠の重要 な社会基盤であることから、公園のバリアフリー化整備の一層の推進をしていきます。また、社会環境の変化に 応じた、安全な施設整備や管理運営に留意して、もう一度、利用者の視点に立ち、緑の空間として”行きたくなる 公園”づくりを目指します。</p>			

神栖市公園施設長寿命化計画

【概要版】

平成29年5月

神栖市都市整備部施設管理課

1. 目的

市内の都市公園の多くが昭和40年代から昭和50年代に整備されたもので、開園後30年以上経過したものが約6割を占めています。公園施設の多くは公園開設当初から設置され、老朽化が進んでおり、今後は施設の修繕・更新に多大な費用が必要になると見込まれます。

「公園施設長寿命化計画」は、こうした公園施設の計画的な維持管理を行うことにより、施設の健全度を高め、公園利用者の安全性の確保を図るとともに、より長期的な使用に努めることで、施設の修繕・更新費用の縮減や財政負担の平準化を図る事を目的とします。

2. 都市公園の整備状況

平成29年3月末時点での都市公園の整備状況は以下のとおりです。

都市公園の数	94公園
都市公園の面積	242.73 (ha)
市民一人当たりの都市公園面積	25.56 (㎡) /人

※県営公園（港公園）を含みます。

3. 計画期間

計画期間は、平成29年度から38年度までの10年間です。なお、計画内容は事業の進捗状況等に合わせて毎年修正を行い5年後に計画全体の見直しを行っていきます。

4. 計画対象公園

◇種別箇所数

街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	緩衝緑地	都市緑地	合計
71	8	1	1	3	3	87

※市が管理する都市公園のうち施設の長寿命化対策が必要となる87公園を計画対象としています。

5. 計画対象施設

計画対象となった87公園のすべての公園施設を計画対象とし、対象施設は以下の種類の5,747施設です。※植栽を含み、地下埋設物は除きます。

◇対象公園施設数

施設分類	施設数	主な公園施設
園路広場	754	橋梁、舗装、園路、階段など
修景施設	171	植栽、花壇、築山、池、モニュメントなど
休養施設	675	あすまや、パーゴラ、ベンチなど
遊戯施設	299	複合遊具、ブランコ、滑り台、鉄棒など
運動施設	22	防球ネット、バスケットゴール、スポーツウォール（壁打ち）など
教養施設	36	記念碑など
便益施設	244	時計塔、便所、水飲み場、展望台など
管理施設	3,546	照明灯、柵、車止めなど
合計	5,747	

対象となる公園施設について、現地における点検調査や既存資料で得られた情報等を基に、予防保全型管理あるいは事後保全型管理に分類し、計画的な維持管理を行います。予防保全型管理の施設は371施設、事後保全型管理の施設は5,376施設です。

◇予防保全型と事後保全型とは

予防保全型管理	劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせることを目的に計画的な手入れを行うよう管理する方法
事後保全型管理	施設の日常的な維持管理や点検を行い、施設の機能が果たせなくなった段階で取り換えるよう管理する方法

6. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

予防保全型管理施設について、専門家による劣化診断を実施し、A から D 判定の4段階の評価を行いました。

◇評価基準

ランク	評価基準
A	全体的に健全である。 緊急の補修・更新の必要はないため、日常点検で管理するもの。
B	全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 緊急の補修・更新の必要はないが、日常点検で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	全体的に劣化が進行している。 利用し続けるためには補修が必要なもの。
D	全体的に劣化が進行している。 公園施設使用の禁止措置あるいは、緊急な補修や更新が必要とされるもの。

劣化診断による4段階の判定結果は、最も良好な状態であるA判定が21基(5.7%)、B判定が293基(79.0%)、C判定が57基(15.4%)、D判定が0基(0.0%)でした。

なお、この判定結果に応じて、公園施設の健全度や補修・更新等が必要な施設を把握し、計画に反映します。

◇判定結果

	評価A	評価B	評価C	評価D	なし	合計
休養施設（あずまや、パーゴラ）	5	17	4	0	0	26
遊戯施設（遊具）	11	243	45	0	0	299
便益施設（便所）	0	17	3	0	0	20
管理施設（倉庫等）	0	2	1	0	0	3
その他の施設	5	14	4	0	0	23
合計	21	293	57	0	0	371

7. 長寿命化計画の策定

(1) 基本方針

- 現在使用中のものは、修繕、補修等の長寿命化対策を行い、施設の延命化を図ります。今後も定期的な補修を行うことで、公園施設の長期間にわたる機能の発揮を目指します。
- 予防保全型管理を行う施設のうち遊具や設備については、毎年定期点検を実施し、施設の劣化状況について把握し補修・更新について検討を行います。
- 予防保全型管理を行う施設のうち遊具以外の施設については、今後も定期的に健全度調査を実施し状況の把握と補修について検討を行います。
- 事後保全型管理を行う施設は、日常点検と維持保全（清掃・保守・修繕）で公園施設の機能の保全と安全性を確保します。また、日常点検で施設の劣化や破損を把握した場合、施設の軽微な補修もしくは更新を行います。

(2) ライフサイクルコストの縮減額

長寿命化計画を実施することにより、10年間で35,710千円のライフサイクルコストの縮減が見込まれます。

◇ライフサイクルコストとは

ライフサイクルコスト (LCC)	施設を設置してから更新までにかかる「維持保全費（点検や修繕等）」、「補修費（塗装等）」、「更新費」等の必要な経費の総額
---------------------	---

◇ライフサイクルコスト縮減効果の算定式

$LCC \text{ 縮減効果 (単年度)} = \text{事後保全} LCC / \text{年} - \text{予防保全} LCC / \text{年}$ <ul style="list-style-type: none">• 事後保全LCC：<u>長寿命化対策をしなかった場合の費用の総額</u> / 使用見込み期間 ↳ (維持保全費 + 更新費)• 予防保全LCC：<u>長寿命化対策をした場合の費用の総額</u> / 使用見込み期間 ↳ (維持保全費 + <u>健全度調査費 + 補修費 + 更新費</u>) ↳ 長寿命化対策費

◇ライフサイクルコスト縮減効果一覧その1

公園番号	公園名	施設分類	施設名称	事後保全LCC	予防保全LCC	単年度当りLCC縮減額
0003	あけぼの児童公園	休養施設	パーゴラ	102.894	92.616	10.277
0009	ひまわり児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	168.127	24.958
0012	あすなる児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	168.827	24.259
0016	かえで児童公園	休養施設	パーゴラ	193.086	169.176	23.909
0018	つくし児童公園	休養施設	パーゴラ	144.814	129.444	15.370
0019	うずも児童公園	休養施設	パーゴラ	137.192	121.988	15.204
0023	ふかしば児童公園	休養施設	パーゴラ	177.727	156.540	21.186
0025	柳堀児童公園	休養施設	パーゴラ	144.814	129.794	15.020
0035	うずも坂児童公園	便益施設	展望台	286.097	247.764	38.333
0044	いずみ野街区公園	修景施設	モニュメント	115.000	101.339	13.660
0044	いずみ野街区公園	休養施設	パーゴラ	137.192	123.230	13.961
0045	平泉外十二入会街区公園	休養施設	パーゴラ	266.590	247.462	19.128
0046	大沼公園	休養施設	あすまや	296.212	261.818	34.393
0055	若松中央児童公園	管理施設	休憩舎、倉庫	374.431	327.444	46.986
0058	押揚児童公園	修景施設	モニュメント	95.833	85.645	10.187
0070	波崎灯台跡公園	園路広場	園路C（木道）	293.250	281.819	11.430
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	便所	409.640	384.653	24.986
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	ソーラー時計	325.833	278.527	47.305
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	みはらし台	260.666	245.055	15.611
0070	波崎灯台跡公園	便益施設	展望塔	776.160	698.253	77.906
0071	なさか夕日の郷公園	便益施設	展望デッキ	381.463	333.191	48.272
0072	息橋運動広場	休養施設	パーゴラ	177.727	156.969	20.757
0074	五郎台中央公園	休養施設	パーゴラA	193.086	175.699	17.386
0074	五郎台中央公園	休養施設	パーゴラB	193.086	175.699	17.386
0074	五郎台中央公園	便益施設	時計塔	130.333	117.222	13.111
0075	豊ヶ浜運動公園	休養施設	あすまやA	145.585	127.296	18.289
0075	豊ヶ浜運動公園	休養施設	あすまやB	296.212	257.853	38.358
0075	豊ヶ浜運動公園	運動施設	スポーツウォール（壁打ち）	499.148	435.531	63.617
0077	利根公園	便益施設	便所	799.944	720.175	79.768
0081	神之池緑地	園路広場	デッキA	537.625	483.909	53.715
0081	神之池緑地	園路広場	デッキB	537.625	483.909	53.715
0081	神之池緑地	園路広場	八つ橋	488.750	437.444	51.305
0081	神之池緑地	園路広場	浮棧橋	13,800.000	13,731.888	68.111
0081	神之池緑地	園路広場	歩道橋	1,792.083	1,676.180	115.902
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントA	230.000	197.565	32.434
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントB	191.666	165.506	26.160
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントC	383.333	332.581	50.751
0081	神之池緑地	修景施設	モニュメントD	383.333	332.581	50.751
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやA	296.212	260.530	35.681
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやB	296.212	261.818	34.393
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやC	296.212	257.424	38.787
0081	神之池緑地	休養施設	あすまやD	296.212	257.424	38.787

◇ライフサイクルコスト縮減効果一覧その2

公園番号	公園名	施設分類	施設名称	事後保全LCC	予防保全LCC	単年度当りLCC縮減額
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラA	514.473	473.640	40.833
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラB	325.833	289.684	36.148
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラC	355.454	353.459	1.994
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラD	102.894	91.622	11.271
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラE	274.385	240.672	33.713
0081	神之池緑地	休養施設	バーゴラF	411.578	359.385	52.192
0081	神之池緑地	便益施設	便所A	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所B	409.640	380.340	29.300
0081	神之池緑地	便益施設	便所C	2,695.000	2,416.046	278.953
0081	神之池緑地	便益施設	便所D	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所E	1,373.166	1,261.694	111.472
0081	神之池緑地	便益施設	便所F	2,695.000	2,416.046	278.953
0081	神之池緑地	便益施設	便所G	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所H	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所I	499.560	452.512	47.048
0081	神之池緑地	便益施設	便所J	575.960	528.290	47.670
0081	神之池緑地	便益施設	便所K	582.120	555.056	27.063
0081	神之池緑地	便益施設	便所L	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	便益施設	便所M	409.640	377.140	32.499
0081	神之池緑地	管理施設	倉庫A	346.500	303.583	42.916
0081	神之池緑地	管理施設	倉庫C	577.500	489.083	88.416
0082	和田山緑地	便益施設	便所A	409.640	377.940	31.700
0082	和田山緑地	便益施設	便所B	409.640	382.420	27.220
0083	若松緑地	便益施設	便所	1,373.166	1,259.472	113.694
0083	若松緑地	便益施設	ステージ	337.901	291.543	46.358
0086	土合緑地	園路広場	横断橋	4,344.444	3,889.506	454.938
0086	土合緑地	便益施設	便所	797.720	769.986	27.733
0086	土合緑地	便益施設	展望台	195.500	174.616	20.883
0087	神栖総合公園	園路広場	八つ橋	274.385	264.795	9.590
0087	神栖総合公園	便益施設	便所	575.960	531.490	44.470
合計				50,184.709	46,613.635	3,571.027

(3) 年次計画の策定と平準化

各公園施設ごとに、使用見込み期間のほか、維持保全費、補修、更新等の概算費用を算出し、年度別に集計しました。これを基に、特定の年度に費用が集中したり、年度ごとの事業費に大きなばらつきが生じないように、概算事業費の平準化を行いました。

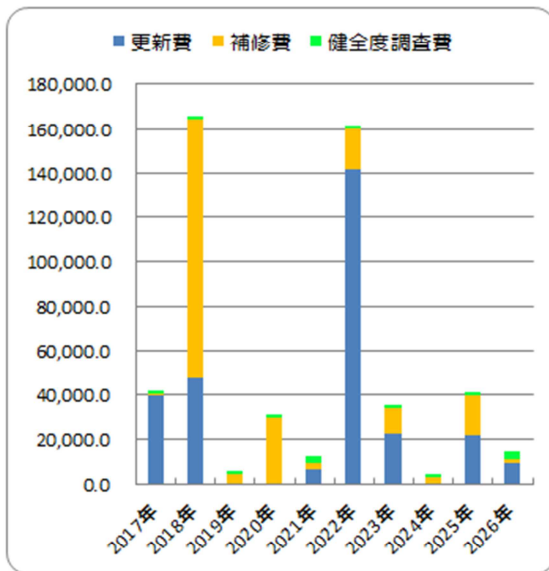
概算事業費（平準化前）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合計
更新費	39,526.5	47,332.8	0.0	0.0	5,882.0	141,254.9	22,257.0	0.0	21,604.0	8,766.6	286,623.9
補修費	516.0	116,378.0	4,376.8	29,830.6	2,985.0	18,211.2	11,779.8	2,551.8	17,851.4	2,055.0	206,535.6
健全度調査費	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,447.0	3,873.0	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,430.0	3,873.0	19,203.0
合計	41,472.5	165,140.8	5,806.8	31,277.6	12,740.0	160,896.1	35,466.8	3,981.8	40,885.4	14,694.6	512,362.5

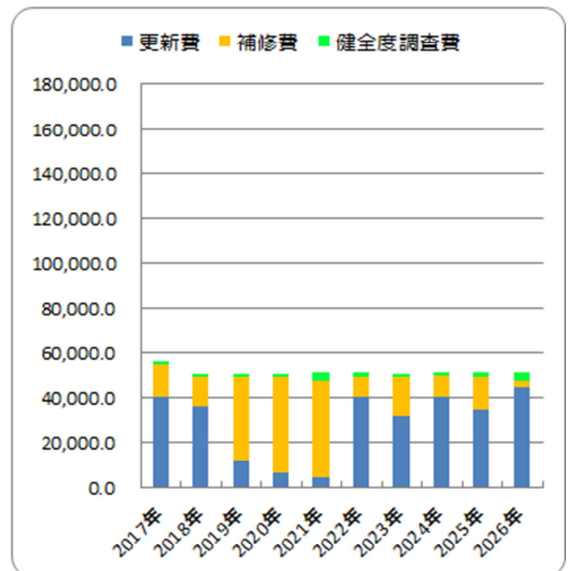
概算事業費（平準化後）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合計
更新費	39,526.5	35,602.8	11,730.0	6,194.1	4,226.1	39,523.1	31,621.1	39,727.3	34,066.4	44,406.4	286,623.9
補修費	15,032.8	13,528.8	37,494.0	42,954.4	42,888.2	9,646.2	17,478.8	9,707.8	15,256.4	2,548.2	206,535.6
健全度調査費	1,430.0	1,430.0	1,430.0	1,447.0	3,641.0	1,662.0	1,430.0	1,430.0	1,495.0	3,808.0	19,203.0
合計	55,989.3	50,561.6	50,654.0	50,595.5	50,755.3	50,831.3	50,529.9	50,865.1	50,817.8	50,762.6	512,362.5

費用の推移（平準化前）



費用の推移（平準化後）



対象公園ごとの長寿命化対策実施計画

その1

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿命化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)			
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026		
0001	すみれ児童公園	街区	1973	休養施設、遊戯施設	1973	43	41		四阿 鉄棒					滑り台		ブランコ 滑り台			鉄棒 滑り台	0.0
0002	まつば児童公園	街区	1974	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1974	42	31			ロープ ウェイ			うんてい 滑り台		鉄棒 ブランコ		車止め	うんてい 滑り台 ロープ ウェイ	0.0	
0003	あけぼの児童公園	街区	1974	休養施設、遊戯施設、 便益施設、管理施設	1974	42	31	ガード パイプ	スプリ ング 道具				滑り台		スプリ ング 道具 手洗い		パーゴラ ベンチ	滑り台	10.3	
0004	さつき児童公園	街区	1975	休養施設、遊戯施設	1975	41	38		ベンチ				うんてい		鉄棒 ブランコ 滑り台		ベンチ	うんてい	0.0	
0005	あかしあ児童公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、 便益施設、管理施設	1976	40	43						ジャング ルジ ム 滑り台		ベンチ 鉄棒 ブランコ	車止め 引込柱		水飲み	0.0	
0006	あさひ児童公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設	1976	40	42						鉄棒 滑り台		ブランコ		ベンチ	滑り台	0.0	
0007	さくら児童公園	街区	1985	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1985	31	32	ガード パイプ					鉄棒 滑り台		ブランコ	水飲み		滑り台	0.0	
0008	わかば児童公園	街区	1977	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1977	39	43						鉄棒 ブランコ 滑り台			引込柱	ベンチ ブランコ 滑り台	0.0		
0009	ひまわり児童公園	街区	1977	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1977	39	50		ベンチ				鉄棒 滑り台	ガード パイプ	ベンチ ブランコ		滑り台	パーゴラ	25.0	
0010	くるみ児童公園	街区	1977	遊戯施設	1977	39	56		ロープ ウェイ				可動遊具	複合遊具	可動遊具 ブランコ	ロープ ウェイ			0.0	
0011	つばき児童公園	街区	1978	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1978	38	35						引込柱	スプリ ング 道具	ベンチ ブランコ		滑り台	0.0		
0012	あすなろ児童公園	街区	1978	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1978	38	41					パーゴラ	滑り台	ザイル ク ライ ミ ン グ	ベンチ ブランコ	ネット フェ ン ス 案 内 板 引 込 柱	滑り台	パーゴラ	24.3	
0013	つつし児童公園	街区	1978	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1978	38	27	ガード パイプ				便所	滑り台	鉄棒	ガード パイプ	ガード パイプ	滑り台		0.0	
0014	しらゆり児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、 便益施設、管理施設	1979	37	34						滑り台		引込柱 外灯	時計	滑り台		0.0	
0015	はまゆう児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1979	37	49		ベンチ				滑り台	鉄棒	ブランコ		滑り台	外灯	0.0	
0016	かえで児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1979	37	36		ブランコ				滑り台		ベンチ	ガード パイプ	パーゴラ 滑り台	パーゴラ	23.9	
0017	ちみのき児童公園	街区	1979	遊戯施設	1979	37	20						ブランコ		鉄棒	ベンチ	ブランコ		0.0	
0018	つくし児童公園	街区	1979	休養施設、遊戯施設、 便益施設、管理施設	1979	37	34					便所	ブランコ	トライ アル ラ ダ ー ク ラ イ ム ネ ット	鉄棒 滑り台	水飲み 引込柱	ブランコ	パーゴラ	15.4	
0019	うずも児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設	1980	36	62						複合遊具	滑り台	ク ラ イ ム ネ ット	鉄棒 ブランコ	ベンチ 複 合 遊 具	滑り台	パーゴラ	15.2
0020	きさき児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1980	36	41	引込柱 外灯	ベンチ 滑り台				滑り台	ジャ ン グ ル ジ ム	鉄棒	ブランコ	滑り台	ジャ ン グ ル ジ ム	0.0	
0021	いずみ児童公園	街区	1980	休養施設、遊戯施設、 便益施設、管理施設	1980	36	30					便所	トライ アル ラ ダ ー		ベンチ 鉄棒 滑り台	引込柱	ブランコ	トライ アル ラ ダ ー	0.0	
0022	よこせ児童公園	街区	1981	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1981	35	38						滑り台		鉄棒	ブランコ	手洗い 水飲み 引込柱	滑り台	0.0	

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿命化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)		
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026	
0023	ふかしば児童公園	街区	1981	休養施設、遊戯施設、管理施設	1981	35	36	ガードパイプ	バーゴラ	ブランコ	バーゴラ	滑り台	ザイルクライミング	バーゴラ		ブランコ滑り台	バーゴラ	21.2	
0024	ルビナス児童公園	街区	1982	遊戯施設、管理施設	1982	34	24					トライアルラダー滑り台		ブランコ		ネットフェンス引込柱	トライアルラダー	0.0	
0025	柳堀児童公園	街区	1983	休養施設、遊戯施設、管理施設	1983	33	28					滑り台		ブランコ		ガードパイプ	バーゴラ	15.0	
0026	鱒川児童公園	街区	1984	遊戯施設、便益施設、管理施設	1984	32	28					ネットフェンス	スプリング遊具ムービング遊具	引込柱		水飲み時計		0.0	
0027	萩原児童公園	街区	1984	休養施設、遊戯施設、便益施設	1984	32	34		ベンチ			ブランコ	クライムネット	水飲み		ブランコ		0.0	
0028	高浜児童公園	街区	1984	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1984	32	36		案内板				ガードパイプ	水飲み				0.0	
0029	日川児童公園	街区	1985	休養施設、遊戯施設、便益施設	1985	31	26		ベンチ鉄棒			ブランコ		水飲み		鉄棒ブランコ		0.0	
0030	息栖原児童公園	街区	1986	休養施設、遊戯施設	1986	30	33		ベンチ			滑り台	鉄棒	ベンチブランコ		滑り台		0.0	
0031	田畑児童公園	街区	1986	遊戯施設、便益施設	1986	30	25					ブランコ		水飲み		ブランコ		0.0	
0032	一貫野児童公園	街区	1987	休養施設、遊戯施設、管理施設	1987	29	26		あずまや			滑り台	鉄棒	引込柱		滑り台		0.0	
0033	大野原児童公園	街区	1988	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1988	28	35		ベンチ		便所	ブランコ		引込柱		ブランコ		0.0	
0034	芝崎児童公園	街区	1988	遊戯施設	1988	28	27					滑り台		ブランコ		滑り台		0.0	
0035	うずも坂児童公園	街区	1990	休養施設、遊戯施設、便益施設	1990	26	54				ブランコ		展望台	つんてい展望台	ベンチ鉄棒滑り台	ベンチ	ブランコ	展望台	38.3
0036	五郎台南児童公園	街区	1991	休養施設、遊戯施設、管理施設	1991	25	31		ブランコ滑り台	ジャングルジム			滑り台	引込柱	ベンチ	ブランコジャングルジム		0.0	
0037	五郎台東児童公園	街区	1992	遊戯施設	1992	24	33					滑り台		鉄棒スプリング遊具ブランコ		滑り台		0.0	
0038	亀の甲児童公園	街区	1992	休養施設、遊戯施設、管理施設	1992	24	38	止水栓	バーゴラ	ジャングルジム滑り台				鉄棒ブランコ	ベンチ	ジャングルジム滑り台		0.0	
0039	立野街区公園	街区	1995	休養施設、遊戯施設	1995	21	39		ベンチ	鉄棒スプリング遊具				複合遊具	ブランコ	ベンチ	鉄棒スプリング遊具	0.0	
0040	潮騒街区公園	街区	1998	休養施設、遊戯施設、管理施設	1998	18	49		ベンチ鉄棒ロープウェイ	滑り台				メッシュフェンス	ブランコ		鉄棒滑り台ロープウェイ	0.0	
0041	ひかり街区公園	街区	2000	遊戯施設、管理施設	2000	16	68							鉄棒	ガードパイプネットフェンス		滑り台	0.0	
0042	若松南街区公園	街区	2000	遊戯施設	2000	16	110			スプリング遊具	鉄棒スプリング遊具					滑り台	鉄棒スプリング遊具	0.0	
0043	吉松北街区公園	街区	2005	休養施設、遊戯施設	2006	10	47			複合遊具	ブランコロープウェイ				鉄棒スプリング遊具ムービング遊具	ベンチ	ブランコロープウェイ複合遊具	0.0	
0044	いずみ野街区公園	街区	2005	修養施設、休養施設、遊戯施設	2006	10	56		ベンチスプリング遊具運動遊具	複合遊具	ブランコタワーネット健康遊具	モニュメントバーゴラ			運動遊具	ベンチスプリング遊具	複合遊具	モニュメントバーゴラ	27.6

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)		
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026	
0045	平泉外十二入会街区公園	街区	2004	休養施設、遊戯施設	2004	12	44		うんてい スプリング 遊具 複合遊具			バーゴラ	バーゴラ	うんてい	ブランコ	スプリング 遊具 複合遊具		バーゴラ	19.1
0046	大沼公園	街区	1993	休養施設、遊戯施設	1993	23	28		あずまや			あずまや		引込柱	テーブル ベンチ		あずまや	34.4	
0047	大野原南街区公園	街区	1987	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1987	29	34		あずまや ブランコ	ジャンプ ルジム	便所			ブランコ	野外卓 ジャンプ ルジム			0.0	
0048	豊ヶ浜児童公園	街区	1971	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1971	45	28				鉄棒 滑り台 便所			ブランコ	ベンチ	滑り台		0.0	
0049	仲町公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	22		鉄棒 滑り台		ブランコ			滑り台		鉄棒 ブランコ		0.0	
0050	土合2号公園	街区	1976	休養施設	1976	40	12		ベンチ									0.0	
0051	土合3号公園	街区	1976	遊戯施設	1976	40	22		滑り台		ブランコ			滑り台		ブランコ		0.0	
0052	土合4号公園	街区	1976	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1976	40	29		ブランコ		滑り台 便所			ネット フェンス 引込柱 外灯	滑り台			0.0	
0053	土合5号公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1976	40	45	ネット フェンス	ベンチ 鉄棒 スプリング 遊具		スプリング 遊具 ブランコ			鉄棒 スプリング 遊具 滑り台	スプリング 遊具 ブランコ			0.0	
0054	土合6号公園	街区	1976	休養施設、遊戯施設、 管理施設	1976	40	19				滑り台		止水栓 量水器	ブランコ	ベンチ 滑り台			0.0	
0055	若松中央児童公園	街区	1986	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1986	30	83				休憩舎	スプリング 遊具 ジャンプ ルジム	鉄棒 スプリング 遊具	水飲み 外灯	ブランコ		休憩舎	47.0	
0056	ひばり第1児童公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	55				滑り台	うんてい	ネット クライム	鉄棒 ブランコ	滑り台			0.0	
0057	ひばり第2児童公園	街区	1986	遊戯施設	1986	30	23				ブランコ			滑り台	ブランコ			0.0	
0058	押揚児童公園	街区	1983	修景施設、休養施設、 遊戯施設	1983	33	33				滑り台	鉄棒		ブランコ	ベンチ 滑り台		モニュ メント	10.2	
0059	三番蔵児童公園	街区	1983	遊戯施設	1983	33	26				ブランコ			滑り台	ブランコ			0.0	
0060	新町公園	街区	1983	休養施設、遊戯施設、 便益施設	1983	33	48		ベンチ	便所				スプリング 遊具				0.0	
0061	宝山児童公園	街区	1988	遊戯施設	1988	28	17		ベンチ		滑り台			ブランコ		滑り台		0.0	
0062	西宝山児童公園	街区	1993	遊戯施設、管理施設	1993	23	58				ブランコ	クライム ネット	スプリング 遊具	ネット フェンス		ブランコ		0.0	
0063	北若松団地1号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	22				滑り台			メッシュ フェンス		滑り台		0.0	
0064	北若松団地2号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	19				滑り台	鉄棒		ブランコ		滑り台	ネット フェンス	0.0	
0065	北若松団地3号公園	街区	1976	遊戯施設、便益施設、 管理施設	1976	40	18	小屋			ブランコ			水飲み ネット フェンス		ブランコ		0.0	
0066	柳川団地1号公園	街区	1976	管理施設	1976	40	11	ネット フェンス					止水栓					0.0	

健全度調査 補修 更新

公園番号	公園名	種別	供用年度	長寿化を実施する公園施設	主な公園施設		長寿化対象公園施設数	年次計画									単年度あたりのライフサイクルコスト総減額(千円)	
					設置年度	経過年数		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026
0067	柳川団地2号公園	街区	1976	管理施設	1976	40	8											0.0
0068	柳川団地3号公園	街区	1976	遊戯施設、管理施設	1976	40	10						ネットフェンス	滑り台				0.0
0069	柳川団地4号公園	街区	1976		1976	40	9										0.0	
0070	波崎灯台跡公園	街区	2008	園路広場、休養施設、便益施設	2008	8	128	複合遊具	休憩所				便所 時計 展望塔	ベンチ 緑台 便所		複合遊具	便所 時計 展望塔	177.2
0071	なさか夕日の郷公園	街区	2009	遊戯施設、便益施設	2009	7	56		滑り台			ブランコ ロープ ウェイ	展望 デッキ	滑り台		ブランコ ロープ ウェイ	展望 デッキ	48.3
0072	息栖運動広場	近隣	1988	休養施設、管理施設	1988	28	57	ネット フェンス				パーゴラ	ガード パイプ	ベンチ			パーゴラ	20.8
0073	平泉多目的広場	近隣	1992	遊戯施設、運動施設、管理施設	1992	24	46					鉄棒 滑り台	引込柱	ブランコ		鉄棒 滑り台		0.0
0074	五郎台中央公園	近隣	1999	休養施設、便益施設	1999	17	46			便所 時計塔		パーゴラ 時計塔		ベンチ			パーゴラ 時計塔	47.9
0075	豊ヶ浜運動公園	近隣	1976	休養施設、遊戯施設、運動施設	1976	40	85		ブランコ 滑り台			ロープ クライム 健康遊具				ブランコ 滑り台	四阿 スポーツ ウォール	120.3
0076	童子女の松原公園	近隣	1998	管理施設	1998	18	69						照明施設					0.0
0077	利根公園	近隣	1978	休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1978	38	116	ネット フェンス	スプリ ング遊具 ブランコ 滑り台			ジャング ルジム	水飲み	ベンチ スプリ ング遊具	便所	ブランコ 滑り台 ジャング ルジム	便所	79.8
0078	土合運動公園	近隣	1974	便益施設、管理施設	1974	42	57	便所				車止め						0.0
0079	土合1号公園	近隣	1976	休養施設、遊戯施設、管理施設	1976	40	40		スプリ ング遊具			鉄棒 トライア ルラダー	スプリ ング遊具 引込柱	ベンチ ブランコ 滑り台		鉄棒 スプリ ング遊具	トライア ルラダー	0.0
0080	宝山公園	地区	1981	便益施設、管理施設	1981	35	38			防護柵 案内板	便所	ネット フェンス 水飲み						0.0
0081	神之池緑地	縦緑	1973	園路広場、修景施設、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1973	43	1427	便所 木柵	あずま や ネット フェンス 車止め	浮橋 パーゴラ 便所	浮橋 便所 ネット フェンス	浮橋 歩道橋 遊具	遊具 便所 柵	橋梁 ベンチ 遊具	健康遊具 便所	便所 倉庫 遊具	健康遊具 便所	1,973.4
0082	和田山緑地	縦緑	1975	休養施設、便益施設、管理施設	1975	41	270	ベンチ ネット フェンス	手洗い 車止め	便所	便所 車止め	便所	水飲み ガード パイプ 外灯				便所	58.9
0083	若松緑地	縦緑	1976	園路広場、休養施設、便益施設、管理施設	1976	40	251	止水柵 柵	あずま や ベンチ 車止め	テーブル ベンチ 便所	車止め	便所 ステージ	水飲み 車止め 外灯			ステージ	ステージ	160.1
0084	日川緑地	都緑	1983	便益施設、管理施設	1983	33	23						手洗い 水飲み	引込柱				0.0
0085	砂山都市緑地	都緑	2004		2004	12	97											0.0
0086	土合緑地	都緑	1976	園路広場、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設	1980	36	149	横断橋	防護柵			滑り台 ロープ ウェイ 複合遊具	ベンチ ネット フェンス 防護柵	ベンチ			横断橋 便所 展望台	503.6
0087	神栖総合公園	総合	2006	園路広場、遊戯施設、便益施設	2006	10	332					特殊遊具			便所		ハフ橋 便所	54.1
合計																		3,571千円

健全度調査 補修 更新

概算費用合計 512,362 (千円)